

Book Review

《眼科臨床エキスパート》 角結膜疾患の治療戦略 薬物治療と手術の最前線

吉村長久, 後藤 浩, 谷原秀信 シリーズ編集 島崎 潤 編

医学書院から《眼科臨床エキスパートシリーズ》に『角結膜疾患の治療戦略—薬物治療と手術の最前線』が加わりました。編集ご担当は日本角膜学会理事長の島崎潤教授（東京歯科大学市川総合病院）です。手に取ると厚さ2cmで索引を入れると405ページから成るちょっと厚い教科書ですが、ひとたびページをめくると、検査法や疾患ごとに細かく段落が分かれていますので、目次を見て関係するページを開くことで、日常診療の中の疑問に即座に、かつわかりやすく答えてくれる構成となっています。それぞれの項目も長文ではなく豊富に図を交え、細分化された項目構成なので、詳細な内容であるものの、多忙な中で効率よく読むことに適していると思います。さらに疾患のページの前に、それぞれに検査法に関する項目別の記載があり、眼科コメディカルの皆さまにも有益な情報が盛り込まれています。

一方、角膜・眼表面を専門とする眼科医や角結膜専門医をめざす若手にとっては、日々の業務の合間を縫って通読することで、知識・経験の整理や新たな知識の習得に役立つことが大いに期待できる1冊でしょう。

各項目の執筆者はどなたも角膜・眼表面を専門にして最前線で活躍する旬の眼科医です。私が角膜学会・角膜移植学会（いわゆる角膜カンファレンス）などで

いつもお会いする先生ばかりで、執筆者の人は、この学会で中心的な役割をしておられる島崎潤教授ならではのと思います。角膜学会・角膜移植学会の皆さまは指導層の教授陣と若手の眼科医の極めてフレンドリーな関係の中、国内外の学会などで頻りに顔を合わせて昼夜を問わず意見交換を行っています。そのため、本書が項目ごとに各執筆者の所属施設が異なるにもかかわらず、施設独自の記載がみられず、スタンダードな記載とアップデートな側面が両立できているのがセールスポイントだと思います。また、本に記載されているパスワードでウェブ上の手技動画を閲覧できることも大きなメリットです。

角膜・眼表面の臨床についての成書は数多くあります。しかし、検査、結膜疾患、角膜疾患という読みやすい三領域の構成で、それぞれも項目ごとに分かれた、しかも、最前線で活躍の眼科医によるスタンダードとアップデートとのバランスの取れた記載ということで、本書は、若手、眼科専門医を問わず、ぜひ手の届く所に置いておきたい1冊だと思います。

和歌山県立医大教授・眼科学
雑賀司珠也

B5 頁424 2016年4月
定価：本体17,000円＋税
[ISBN978-4-260-02504-1] 医学書院刊